

その他の資料

令和4年度 会長表彰受賞者及び感謝状贈呈企業等一覧

会長表彰者・感謝状贈呈企業等一覧

<目次>

会長表彰 表彰者一覧

| | | |
|-------|------|---|
| 特別栄誉賞 | | 1 |
| 特別功労章 | | 2 |
| 功労章 | | 3 |
| 特別賞 | | 8 |

| | | |
|------------|------|----|
| 感謝状贈呈企業等一覧 | | 10 |
|------------|------|----|



式次第

<会長表彰式>

1. 開 会

2. 表 彰

特別功労章

功労章

特別賞

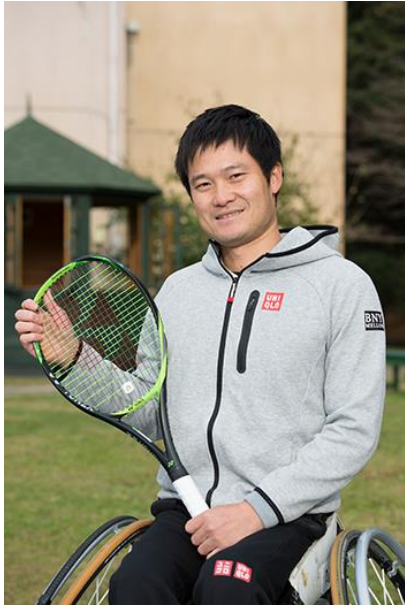
寄附団体への感謝状贈呈

3. 主催者代表挨拶

4. 受賞者代表挨拶

5. 閉 会

<特別栄誉賞 受賞者>



車いすテニスプレーヤー
国枝慎吾選手

パラリンピック競技大会にシングルスで 3 度の金メダルを獲得するほか、車いすテニスのグランドスラムの大会 50 勝、年間グランドスラム 5 回、昨年はパラリンピックとグランドスラム 4 大会の制覇による生涯グランドスラムを車いすテニス界では初めて達成するなど前人未踏の成績を挙げた。

2009 年からプロ転向（パラスポーツ選手では初）は、車いすテニス福祉の位置付けからスポーツとして認められること、パラスポーツに携わる多くの方に夢を与えられる、障がいのある子供たちに「車いすテニスプレーヤーになりたい」と夢を持ってもらえることを目指し、実力勝負の世界に飛び込み、それを見事に実現した。

2012 年右ひじの手術を不屈の闘志で乗り越え、その年の 9 月に行われたロンドンパラリンピックで前人未踏の 2 大会連続金メダルを獲得し、完全復活を果たした。

このように同人は、競技生活においては前人未到の記録を打ち立てるほか、パラスポーツの振興にも多大な影響を与え、国民に親しまれている。また、正義感・責任感があり、誰に対しても謙虚な姿勢であるなど人格にも優れており、特別栄誉賞を受賞するにふさわしい人物である。

令和4年度会長表彰 表彰者一覧

「特別功労章」

令和5年1月1日現在

| No. | 氏名 <small>しめい</small> | 功績 | 年数 | 推薦者名 |
|--|--------------------------|------|--------|----------------|
| 1 | すずき しのが 鈴木 しのが | 21年間 | 平成13年～ | 一般社団法人日本パラ水泳連盟 |
| <p>【功績】 連盟理事として強化選手の競技力向上及び日本パラ水泳連盟の競技会運営に貢献する。2003年から連盟コーチスタッフとしてパラ水泳海外遠征に多数帯同、女子選手の入退水介助、視覚選手のタッピングを担当し選手が安心して競技に集中できる環境を作ってきた。水泳競技日本代表コーチとして、パラリンピック3大会に帯同、コーチスタッフ、総務として活躍した(2008北京パラ水泳競技コーチ、2012ロンドンパラリンピック水泳競技コーチ・総務、2016リオデジャネイロ水泳競技コーチ・総務)。特に北京大会では成田選手の指導にあたり、ロンドン大会では視覚障害選手のタッピングなどを行い、日本選手団のメダル獲得に貢献した。 その後も強化合宿において自身の大学水泳部の経験を活かし選手の指導、強化に力を尽くす。また、東京パラリンピック大会では組織委員会準備委員として大会運営に尽力する。当連盟主催のWPS公認競技大会では大会総務責任者として現在も活動している。</p> | | | | |

※功績内容については、推薦団体からの功績をそのまま記載させて頂いております。

「功労章」

| No. | 氏名 | 功績 | 年数 | 推薦者名 |
|-----|--|------|--------|---------------------------|
| 1 | いわさき みつお 岩崎 満男 | 27年間 | 平成7年～ | 福岡県人づくり・県民生活部スポーツ局スポーツ振興課 |
| | <p>【功績】</p> <p>氏は、久留米市の総合型スポーツクラブ桜花台クラブにて、障がい者スポーツ初級指導員として、地域のパラスポーツの普及振興に多大なる貢献をされている。ロンドンパラリンピックに出場した川野将太選手のサポートを行うなど、県域を越えてパラスポーツタレント発掘及び育成に寄与している。現在は、障がい者スポーツ中級指導員、桜花台クラブの代表理事及び日本パラリンピアンズ協会理事、日本車いすテニス協会の副会長・強化本部長を務めるなど、競技の普及に献身的に尽力されており、氏が果たしている福岡県及び九州地区におけるパラスポーツの普及・振興等における功績は特に顕著である。</p> | | | |
| 2 | くままる こういち 熊丸 弘一 | 45年間 | 昭和52年～ | 福岡県人づくり・県民生活部スポーツ局スポーツ振興課 |
| | <p>【功績】</p> <p>氏は、障害をもったのちアーチェリーに取り組み始め、自身の技術の上達はもちろんのこと、仲間を集い、クラブを設立するなど、アーチェリー競技の普及と会員の健康増進並びに親睦融和を目的に活動を続け、生涯スポーツの振興に貢献されている。永年にわたり福岡県内各所において障害者、健常者を問わずアーチェリーの普及振興に努めた功績は顕著である。</p> | | | |
| 3 | なかやま いくみ 中山 育美 | 17年間 | 平成17年～ | 福岡県人づくり・県民生活部スポーツ局スポーツ振興課 |
| | <p>【功績】</p> <p>NPO法人しいだコミュニティ倶楽部クラブマネジャーとして、障がい者と健常者が協同で実施する交流スポーツ教室「ときめき教室」の企画・実施。この取り組みをきっかけに障がい者スポーツボランティアスタッフ養成講習会や特別支援学校等において「スポーツ屋台村」などを企画・実施し、障がい者の理解力、身体能力の向上に努めるなど顕著な成果を上げるとともに、地域における障がい者の理解を深め、共生社会の実現に努め、誰でもスポーツを楽しみ、喜びを感じる事が出来るよう工夫を重ね、活動しています。</p> | | | |
| 4 | とき たつし 土岐 達志 | 18年間 | 平成16年～ | 長崎県福祉保健部 障害福祉課 |
| | <p>【功績】</p> <p>長崎県身障者アーチェリー協会の会長や(一社)長崎県障害者スポーツ協会の会長として永年、多岐にわたり障がい者スポーツの発展に貢献されている。</p> <p>第14回全国障害者スポーツ大会の地元開催では未普及の団体競技の指導者、選手の確保などのチーム創り、強化対策等に取り組みされた。特に競技人口増の普及に務め、本県のパラスポーツの地盤構築に尽力された。</p> <p>また、2020東京パラに出場した本県出身者の発掘から育成強化などをはじめ、地域障がい者がスポーツに取り組む機会の企画、運営を積極的に促進されている。</p> <p>現在、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会の副会長として、組織内での障がい者スポーツ分野の活性化等も積極的に取り組まれている。</p> | | | |
| 5 | もりかわ すみこ 森川 澄子 | 23年間 | 平成11年～ | 特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会 |
| | <p>【功績】</p> <p>平成10(1998)年度障害者スポーツ指導員資格取得。障害者スポーツ指導員資格を取得後は、中級障害者スポーツ指導員資格、レクリエーション資格、サウンドテーブルテニス審判員資格を取得するなど、資質向上に積極的に取り組んでいる。</p> <p>特に、サウンドテーブルテニスでは、栃木県障害者スポーツ大会の審判長を務めるなど中心的な役割を果たしている。平成13年度の第1回全国障害者スポーツ大会(宮城県)では、栃木県選手団サウンドテーブルテニスコーチとして参加した経験を持つ。長年、スポーツ教室や県障害者スポーツ大会など当協会事業に協力するなど、障害者スポーツの普及発展に情熱を持って活動している。また、令和4(2022)年の第22回全国障害者スポーツ大会「いちご会とちぎ大会」では、サウンドテーブルテニス審判員養成に中心的な役割を果たした。本県の障害者スポーツの普及・発展に多大なる貢献を果たした。</p> | | | |

※功績内容については、推薦団体からの功績をそのまま記載させて頂いております。

| No. | 氏名 | 功績 | 年数 | 推薦者名 |
|-----|---|------|--------|--------------------|
| 6 | さいたまけんあーちえりーきょうかい 埼玉県アーチェリー協会 | 31年間 | 平成3年～ | 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会 |
| | 【功績】 埼玉県アーチェリー協会は昭和44年に発足された。 平成3年7月に行われた「交流アーチェリー大会」を機に、平成4年4月に発足された「埼玉県障害者アーチェリー協会」の運営及び選手への技術指導等、現在に至るまで多岐に渡ってサポートいただいている。 また、日本身体障害者アーチェリー連盟が主催する大会や、日本パラスポーツ協会が主催していた全国規模の大会が埼玉県で開催される際は、大会の審判や運営に全面的な協力の基、大会を支えてきた。 平成16年度「第4回全国障害者スポーツ大会彩の国まごころ大会」開催にあたり、平成14年の全国障害者スポーツ大会から2年間視察を行ない、準備の段階から運営に携わり、大会を成功裏に終えることができた。 平成17年度以降も埼玉県予選会である「彩の国ふれあいピック春季大会 アーチェリー競技」の協力のみならず、埼玉県で開催される全国大会の審判・運営等、現在に至るまで長年にわたり協力いただき埼玉県及び全国の障がい者のアーチェリー活動の普及発展に尽力している。 | | | |
| 7 | こうえきさいだんほうしんとうきょうとほれーぼーるきょうかい 公益財団法人東京都バレーボール協会 | 15年間 | 平成19年～ | 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 |
| | 【功績】 平成19年(2007年)「東京都障害者スポーツ大会」に至る15年の長きにわたり、バレーボール競技の知的部門、精神部門、身体部門の運営協力をいただいております、精神部門では技術講習会にて選手のスキルアップにも貢献頂いている。 また、東京ゆうあいバレーボール大会へも運営にも協力をいただき東京都の障害者スポーツ活動に大きく貢献している。 | | | |
| 8 | ながお えいじ 長尾 英治 | 27年間 | 平成7年～ | 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 |
| | 【功績】 氏は、一般就労をした障害者のある方を対象に家庭に引きこもっている状況の解消や体を動かす機会を増やす為、1995年3月にサッカーチームを発足した。選手募集のチラシを作成し、養護学校(現:特別支援学校)などに声をかけ、現在も40人の選手を指導している。また、東京都知的障がい者サッカー連盟に所属し、知的障害者のサッカーの普及、向上のために活動している。東京都障害者スポーツ大会のサッカー競技の運営や、秋に開催している、ゆうあいサッカー大会の運営に携わっている。長年に渡りサッカーを通して障害者スポーツの振興にご尽力いただいておりますため、推薦する。 | | | |
| 9 | みずの しんじ 水野 慎治 | 26年間 | 平成8年～ | 一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会 |
| | 【功績】 特別支援学校に就職し、障がい児教育及びパラスポーツに尽力され、特に視覚障がい者を有する生徒の部活動に積極的に取り組み、多くの大会でチームを率いて優秀な成績を挙げられた。さらに、国際大会に参加する選手を多数育成されるなどの功績を残された。 また、国際審判資格を取得し、国際大会に審判として参加され、2012ロンドンパラリンピックゴールボールでは日本人として初の審判を務められた。 さらに、岐阜県ゴールボール協会設立以来、事務局長として協会の運営や選手の育成・強化に尽力される他、障がい者スポーツ指導員として県内の障がい者スポーツイベントで積極的に活動するなど活躍をされている。 | | | |
| 10 | くさか ひでのり 草下 秀紀 | 34年間 | 昭和63年～ | 一般社団法人京都障害者スポーツ振興会 |
| | 【功績】 氏は、1988年(昭和63)年10月に開催された第24回全国身体障害者スポーツ大会「愛とふれ愛の京都大会」に於いて公開競技として実施された「車いす駅伝競走大会(西京極～金閣寺往復)」の京都チームのコーチとして指導にあたるのを契機に以後、京都障害者スポーツ振興会のボランティアとして様々な大会運営やイベントに参加し、スタッフとして34年間活躍されている。特に車いす駅伝競技に関して、振興会の車いす駅伝専門部に所属し、全国で開催されている車いすマラソンや駅伝大会に帯同し、選手のサポートをしている。また、全国障害者スポーツ大会へは、京都府、市のコーチ(陸上競技担当)としても活動されている。さらに、理学療法士の見識を生かし、スポーツ医事相談にあたっている。 | | | |
| 11 | つのおり まさひこ 角折 正彦 | 33年間 | 平成元年～ | 公益財団法人島根県障害者スポーツ協会 |
| | 【功績】 自らも競技者としてスポーツに取り組む傍ら、長年に渡り、障がい者スポーツ指導員、また当事者団体役員として、島根県内、特に雲南地域における障がい者スポーツの普及・推進に貢献している。特に同市で開催される各種の障がい者スポーツ大会では運営役員として尽力するなど、積極的な活動を続けている。 | | | |

※功績内容については、推薦団体からの功績をそのまま記載させて頂いております。

| | | | | |
|-----|---|------------|--------------|-------------------------------|
| No. | 氏名 まつもと ひろし 松本 廣志 | 功績 24年間 | 年数 平成10年～ | 推薦者名 公益財団法人島根県障害者スポーツ協会 |
| 12 | <p>【功績】 雲南市で行われる各種の障がい者スポーツ大会に積極的に参加するとともに、多年にわたりそれらの大会の運営役員として活動してきた。また、同市の障がい者スポーツ協会の役員、及び当事者団体役員として、多年に渡り同市内における障がい者スポーツの普及・振興に尽力している。</p> | | | |
| No. | 氏名 やまぐちけんしょうがいしやそふとぼーきょうかい 山口県障害者ソフトボール協会 | 功績 32年間 | 年数 平成2年～ | 推薦者名 公益社団法人山口県障害者スポーツ協会 |
| 13 | <p>【功績】 平成2年2月に山口県身体障害者ソフトボール協会を設立して以来、平成3年10月の協会主催による第1回山口県障害者ソフトフェスタの開催をはじめ、平成7年8月には県外のチームも参加する山口市長杯西日本障害者ソフトボール大会を開催するなど、ソフトボール競技を通じて障害者のスポーツ参加への機会を数多く提供し、社会参加の促進に貢献した。 また、平成6年5月の第2回全国身体障害者野球大会や平成17年10月のジャパンカップでの優勝、地元の中学生との交流試合など、軟式野球へも活動の場を広げ、障害者スポーツの振興に努めている。</p> | | | |
| No. | 氏名 ひがいの ひろし 日開野 博 | 功績 28年間 | 年数 平成6年～ | 推薦者名 徳島県障がい者スポーツ協会 |
| 14 | <p>【功績】 平成6年の「徳島車いすテニスクラブ」発足から、車いすテニスのコーチ兼監督として指導に携わり、メンバーが、北京パラリンピックで日本代表(藤本佳伸氏、岡部裕子氏)として出場し、パラアスリートの育成・支援を行ってきた。 28年にわたり、車いすテニスの指導にあたり、ご自身もテニスインストラクター、また、現役でテニスアスリートとして活躍されている。 また、大学で福祉の専門家として教鞭をとるとともに、パラスポーツの理解・啓発を行い、パラスポーツイベントへ学生ボランティアを派遣していただいている。車いすテニスクラブのメンバーと共に、車いすテニス体験スクールや講演活動を通して、パラスポーツの普及・啓発、ノーマライゼーション理念の啓発にもご尽力いただいております。月2回の車いすテニスクラブでの活動を通じボランティアの育成も行っている。 県内初の車いすテニスクラブの立ち上げ、パラリンピック出場選手の育成・支援、地域におけるパラスポーツの普及・促進等の活動を精力的に行い、その貢献は、表彰に値するものである。</p> | | | |
| No. | 氏名 べっぶだいがくすぼーつしんこうかいばれーぼーるぶ 別府大学スポーツ振興会バレーボール部 | 功績 21年間 | 年数 平成13年～ | 推薦者名 大分県障がい者スポーツ協会 |
| 15 | <p>【功績】 別府大学スポーツ振興会バレーボール部員(男子、女子約40名)は、2001(平成13)年の第10回ふうせんバレーボール大分大会から21年連続大会審判員として活動中。 ふうせんバレーボールの審判は、通常のバレーボールとは異なり、瞬間的な動体視力や手話を取り入れたジャッジの仕方など、大会審判に向け毎年複数回の審判練習を兼ねた支援活動も実施している。 こうした21年にわたる活動は、ふうせんバレーボールの振興に多大な貢献をしているとともに、当該バレーボール部に所属する学生が卒業後に障がい者スポーツに関わるなど、当該競技に限らない県内の障がい者スポーツの普及振興に寄与している。</p> | | | |
| No. | 氏名 ごしま としお 五島 俊雄 | 功績 16年間 | 年数 平成18年～ | 推薦者名 大分県障がい者スポーツ協会 |
| 16 | <p>【功績】 大分県佐伯市において精神障がい者等の働く施設である「社会福祉法人青山21」の設立、運営を行いながら、精神障がい者等バレーボールチームの育成や支援に長年取り組んでいる。 全国障害者スポーツ大会「チャレンジ! おおいた大会」(2008年)で正式種目として開催される精神障がい者バレーボールの普及等に向け、2006年から当事者の会への支援を中心に活動。 また、バレーボールの普及活動に地域を巻き込むことで、活動を通じた精神障がい者に対する理解促進もなし遂げ、バレーボールを通じて、一般就労に結びつくなど精神障がい者の支援に対する貢献も多大である。</p> | | | |
| No. | 氏名 おおさかおようかい 大阪おようごう会 | 功績 47年間 | 年数 昭和50年～ | 推薦者名 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会 |
| 17 | <p>【功績】 1975年のクラブ設立以降、水泳を通して、障がいのある人のスポーツ参加に貢献してきた。また、クラブ活動のみならず、「大会」の開催にも尽力し、現在の「日本パラ水泳選手権大会」の前身である「近畿身体障害者水泳選手権大会」を1981年に開催するまでに至った。 近年では、長居障がい者スポーツセンター事業への協力のほか、大阪市障がい者スポーツ大会水泳の部の運営協力を欠かすことなく務め、選手を送り出すだけでなく、運営面からのサポートを継続している。</p> | | | |

※功績内容については、推薦団体からの功績をそのまま記載させて頂いております。

| No. | 氏名 | 功績 | 年数 | 推薦者名 |
|-----|---|------|---------------|--------------------|
| 18 | たんの ひろし 丹野 大 | 21年間 | 平成13年～ | 福島県障がい者スポーツ指導者協議会 |
| | <p>【功績】</p> <p>氏は、定年退職後、社会福祉協議会の介護員として勤務。社会福祉協議会の仕事を通じ障がい者福祉事業所のレクリエーションのボランティアに携わる。</p> <p>平成18年に、福祉事業所の利用者にフライングディスクを推奨するため、日本障がい者フライングディスク協会公認二種審判を取得し、福島県安達郡管内の福祉事業所をはじめ、小中学校に障がい者フライングディスクの体験等の活動を行った。</p> <p>平成20年には、初級指導者資格を取得。平成24年には、中級指導者資格を取得した。平成23年、中級指導者講習会へ向かう途中の東北新幹線内で東日本大震災が発生し、被災。その後、避難をしている住民に対し、避難所においてフライングディスク、卓球パレー、ポッチャなどのスポーツ指導し、住民の健康被害が発生しないようボランティア活動を継続した。</p> <p>平成23年からは、福島県障がい者フライングディスク協会の会長として協会を牽引し、福島県内における障がい者フライングディスクの普及に大きく貢献した。</p> <p>福祉の心を持って、長年、本県障がい者スポーツの推進に貢献した氏の功績は顕著であり、功労章の推薦とした。</p> | | | |
| 19 | おもて かつこ 表 かつ子 | 24年間 | 平成10年～ | 東京都障害者スポーツ指導者協議会 |
| | <p>【功績】</p> <p>資格取得年数はわかりませんが、長年、大会等に従事しています。</p> <p>ご自身も聴覚障がいを抱えながら、パラスポーツを楽しんでいます。</p> <p>総会にほとんど出席しています。</p> <p>大会などでは、いつも顔を見せ、障害を持ちながらも役員を担っています。</p> <p>本当に目立たない方ですが、このような地道に指導員として、長年、事業支援に関わっている方の表彰をご検討頂ければ、幸いです。</p> | | | |
| 20 | かどわき しずお 門脇 俊雄 | 24年間 | 平成10年～ | 千葉県障がい者スポーツ指導者協議会 |
| | <p>【功績】</p> <p>1998年に障がい者バドミントンのサポートをきっかけに市原市をはじめ千葉県、千葉市のユニバーサルスポーツ(特にポッチャ)の普及・推進に務めてきました。</p> <p>また、千葉障がい者スポーツ指導者協議会理事として、事務局の運営に尽力するとともに初級指導者講習会講師、全国障害者スポーツ大会千葉県選手団役員として長年にわたり支援・協力し、その功績は多大です。</p> | | | |
| 21 | わたなべ いさむ 渡辺 勇 | 20年間 | 平成10年～ 30年 | 神奈川県障害者スポーツ指導者協議会 |
| | <p>【功績】</p> <p>自身の右前腕と右下腿の切断を機に、幼少期から親しんできた水泳で県大会に出場したことで、神奈川県代表として全国身体障害者スポーツ大会(ふれ愛ビック大阪:平成9年)でメダルを獲得するに至った。そこで障がい者スポーツの意義を理解し、障がい当事者と家族とその関係者のスポーツへの関わり的重要性を認識し、障がい者スポーツの一環として特に水泳競技に携わるようになった。</p> <p>当時の相模原市には、障がい者を対象とした水泳サークルがなかったので、身体障がい者並びに知的障がい者を対象とした水泳チーム(まんぼうサガミ)を立ち上げ、選手兼代表者として長年に亘り選手と支援者の育成に務めた。現在はチームの代表者を退きボランティアとして活動している。</p> <p>なお、神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会副会長就任の経歴もある。</p> | | | |
| 22 | よこやま たかあき 横山 孝昭 | 19年間 | 平成15年～ | 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会 |
| | <p>【功績】</p> <p>平成15年に初級障害者スポーツ指導員を取得し、川崎市障がい者スポーツ指導者協議会北部支部を開設するとともに、陸上や水泳等の活動に精力的に参加して、川崎市における障害者スポーツの振興及び普及に尽力。</p> <p>また、平成17年に日本障害者フライングディスク連盟第二種指導員を取得して、フライングディスクの若手指導員の育成や大会運営などに手腕を発揮。</p> <p>上記の記載事由により、永年にわたり障がい者スポーツの発展に寄与したものと功労賞に推薦いたします。</p> | | | |
| 23 | よねづ たけお 米津 毅夫 | 18年間 | 平成16年～ | 愛知県障害者スポーツ指導者協議会 |
| | <p>【功績】</p> <p>平成16年から手話通訳者として、県内障害者スポーツのボランティアに積極的に参加をして、障害者スポーツの活動の普及に尽力した。平成21年より愛知県障害者スポーツ指導者協議会に入会。平成22年以後、広報委員会委員として協議会活動でも尽力した。全国障害者スポーツ大会愛知県選手団では、主に陸上のコーチとして、多くの選手の指導にあたった。また、手話通訳の資格を持つことから、聴覚障害がある大会参加選手等と情報を共有する場面においても活躍した。</p> | | | |
| 24 | かにし えいじ 香西 栄治 | 37年間 | 昭和60年～ | 名古屋市障がい者スポーツ指導者協議会 |
| | <p>【功績】</p> <p>1985年のボランティア開始をきっかけに、1994年に(旧)初級身体障害者スポーツ指導員資格を取得後、現在に至るまで、名古屋市内を中心に広く、障がい者スポーツ(特に陸上競技や水泳)の発展普及に寄与されました。また、2000年の全国身体障害者スポーツ大会(富山県)からはじまり、名古屋市選手団役員として数多くの大会に帯同され、選手の指導・育成に貢献されました。</p> | | | |

※功績内容については、推薦団体からの功績をそのまま記載させて頂いております。

| No. | 氏名 し めい 氏 名 | 功績 | 年数 | 推薦者名 |
|-----|---|------|--------|--------------------------------|
| 25 | なかの かおる 中野 薫 | 26年間 | 平成8年～ | 大阪障がい者スポーツ指導者協議会 |
| | 【功績】 本氏は、1996年に大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)における障がい者スポーツの担当部局に指導員として入職。以降、来所される府内の障がい者に対して、水泳を中心とする指導を実施する中で、近畿の障がい者水泳大会の実行委員として大会運営を行い、競技者間のネットワークの構築を行ってきた。 その後、自身の会社に転職する中で、一般市民の視点から、1998年より当協議会の理事に就任し研修部、事務局等の役割を担当。また、2002年フェスピック釜山大会の水泳競技コーチとしても派遣され、日本パラ水泳連盟や近畿身体障害者水泳連盟の委員にも就任している。 2021年からは当協議会の副会長として、組織運営に従事していることを考慮し、これまでの活動履歴と今後の活動を踏まえ、当協議会として、今回の表彰の推薦を行うものである。 | | | |
| 26 | さとう せつこ 佐藤 節子 | 19年間 | 平成15年～ | 一般社団法人日本スポーツウエルネス吹矢協会 |
| | 【功績】 小学校の教諭として障害児指導や特別支援学級の教諭をする中で、2003年2月に当協会入会後は生徒・保護者・教職員・卒業生等に吹矢体験会を実施し、吹矢の普及指導を精力的に行った。退職後、2010年3月～2012年3月、モンゴルウランバートル市特別支援学校に海外協力隊シニアボランティアとして着任。帰国後も2019年に吹矢仲間と再度モンゴルへ行き、普及活動(体験会・大会等)に尽力した。2020オリパラ大会では晴海の選手村でボランティアとして活動。茨城県吹矢協会においては県障がい者サポート部長として、2019茨城ゆめ大会(全国障がい者スポーツ大会)の実施準備のため県内の公認指導員の纏めに奔走、障がい者サポート公認指導員の育成にも尽力した。また自らが中心となって県障がい者スポーツウエルネス吹矢大会を毎年開催している。以上、長年に亘る障がい者へのスポーツウエルネス吹矢普及活動功績に鑑みて、本功労章に値する人物と認め推薦するものである。 | | | |
| 27 | すぎうら まさよ 杉浦 真代 | 25年間 | 平成9年～ | 日本パラアーティスティックスイミング協会 |
| | 【功績】 氏は、自身のシンクロナイズドスイミングの経験(国体愛知県代表)を活かし、1997年より、「障害のある人となない人が共に泳ぐ」ことを理念とする障害者シンクロナイズドスイミング(現パラアーティスティックスイミング/パラAS)に携わる。パラASのチームを作り、選手、指導者として、現在までチームを牽引している。 同時に、日本パラAS協会の中心人物として、多くの体験会や講習会の講師として、普及・啓発に力を発揮し、パラASの魅力を広げている。 2009年からは、本協会副会長として協会運営の中心となり、本協会の広報機関紙の編集・発行等にも継続的に取り組んでいる。 以上のことから、パラAS発展に尽力する素晴らしい人物としてここに推薦いたします。 | | | |
| 28 | きくち まさこ 菊池 正子 | 34年間 | 昭和63年～ | 一般社団法人日本パラ水泳連盟 |
| | 【功績】 近畿身体障がい者水泳連盟の設立当時より中心メンバーとして連盟運営に係わる。大会役員・事務局・及び障がい者水泳指導者として長年にわたり貢献している。また、地域から日本身体障がい者水泳連盟の発展・障がい者水泳の普及・選手強化に寄与する。現在まで長年にわたり協力してきた功績は大きく候補者にふさわしい。 | | | |
| 29 | みやもと やすし 宮本 靖 | 27年間 | 平成7年～ | 一般社団法人日本パラ水泳連盟 |
| | 【功績】 地域連盟である関東身体障がい者水泳連盟の理事として発足以来、大会役員・事務局・及び障がい者水泳指導者として長年にわたり貢献している。 また、地域から日本身体障がい者水泳連盟の発展・障がい者水泳の普及・選手強化に寄与する。関東身体障がい者水泳大会を地域大会では日本一多く会員が参加する大会として日本有数の大会にする。現在まで長年にわたり協力してきた功績は大きく候補者にふさわしい。 | | | |
| 30 | よしおか みさお 吉岡 操 | 24年間 | 平成10年～ | 社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団 福祉センター |
| | 【功績】 1998年から、水泳競技において、教室講師を10年間、その後自主活動となったクラブの指導を現在に至るまで実施している。また、全国障害者スポーツ大会には5回、水泳競技監督として帯同し、選手強化に努めた。現在は、香川県パラ水泳協会副会長として、水泳競技大会の審判、クラス分けに携わっている。 また、香川県障がい者スポーツ指導者協議会クラス分け部長に8年間携わり、香川県内のクラス分けの基盤づくりに貢献した。 県内の障害者の水泳競技普及ならびに障害者スポーツのクラス分けの基盤づくりに尽力された功績について、当センターより推薦するものである。 | | | |

※功績内容については、推薦団体からの功績をそのまま記載させて頂いております。

「特別賞」

令和5年1月1日現在

| NO. | 氏名 | 推薦者名 | 推薦理由 |
|-----|--------------------|--------------------------------------|---|
| 1 | おおたほもこ 大谷 桃子 | 一般社団法人日本車いすテニス協会 | 2022 BNP Paribas World Team Cup ポルトガル大会 女子1位 |
| 2 | おだ ときと 小田 凱人 | 一般社団法人日本車いすテニス協会 | NEC Wheelchair Singles Masters/ITF Wheelchair Doubles Mastersシングルス1位 |
| 3 | かみじ ゆい 上地 結衣 | 一般社団法人日本車いすテニス協会 | 2022 BNP Paribas World Team Cup ポルトガル大会 女子1・Wimbledonダブルス1位 |
| 4 | くにえだしんご 国枝 慎吾 | 一般社団法人日本車いすテニス協会 | Wimbledonシングルス1位 |
| 5 | たなか まなみ 田中 愛美 | 一般社団法人日本車いすテニス協会 | 2022 BNP Paribas World Team Cup ポルトガル大会 女子1位 |
| 6 | ふなみずしおり 船水 梓緒里 | 一般社団法人日本車いすテニス協会 | 2022 BNP Paribas World Team Cup ポルトガル大会 女子1位 |
| 7 | うえやま ともひろ 上山 友裕 | 一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟 | DUBAI 2022 WORLD ARCHERY PARA CHAMPIONSHIPS(ドバイ2022世界パラアーチェリー選手権大会)男子リカープ1位 |
| 8 | まつだ あんく 松田 天空 | 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟 | 第25回日本知的障害者選手権水泳競技大会 男子200mバタフライ1位(世界新記録)、Virtus Oceania Asia Games Brisbane 2022 男子200mバタフライ 1位(世界新記録) |
| 9 | やまぐちなおひで 山口 尚秀 | 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟 | Madeira 2022 World Para Swimming Championships 男子100m平泳ぎ 1位(大会新記録) 第25回日本知的障害者選手権水泳競技大会 男子200m平泳ぎ 1位(世界新記録・長水路)・男子100m平泳ぎ 1位(世界新記録・短水路) Virtus Oceania Asia Games Brisbane 2022 男子100m平泳ぎ 1位(世界新記録) |
| 10 | かわぐちまなみ 川口 穂菜美 | 特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟 | 第1回WPA公認NAGASEカップ パラ競技大会 女子パラやり投げ 40m03cm(世界新記録) |
| 11 | いばめゆうたろう 茨 隆太郎 | 一般社団法人日本デフ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック競技大会 400m個人メドレー・200m個人メドレー・100mバタフライ 1位/50mバタフライ・400mメドレーリレー・400mフリーリレー/2位 |
| 12 | かなじ よしかず 金持 義和 | 一般社団法人日本デフ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 400mメドレーリレー・400mフリーリレー/2位 |
| 13 | さいとう きょうか 齋藤 京香 | 一般社団法人日本デフ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回デフリンピック競技大会 100mバタフライ1位 |
| 14 | ふじわらさとい 藤原 慧 | 一般社団法人日本デフ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 1500m自由形・400m自由形/1位 200m自由形・400mメドレーリレー・400mフリーリレー/2位 |
| 15 | ほしたば 星 泰雅 | 一般社団法人日本デフ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 400mメドレーリレー・400mフリーリレー/2位 |
| 16 | いとう ゆうや 伊東 勇哉 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |
| 17 | おおた あゆむ 太田 歩 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |
| 18 | かきうち こうへい 柿内 康平 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |
| 19 | ながはら まなみ 長原 茉奈美 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |
| 20 | ぬまくら ちひろ 沼倉 千紘 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |
| 21 | ぬまくら まさあき 沼倉 昌明 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |
| 22 | やかべ あやか 矢ヶ部 紋可 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |
| 23 | やかべ まい 矢ヶ部 真衣 | 一般社団法人日本デフバドミントン協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回 夏季デフリンピック バドミントン競技 団体戦 2位 |

| NO. | 氏名 | 推薦者名 | 推薦理由 |
|-----|--------------------|---------------------------------------|--|
| 24 | いしだ たかまさ 石田 孝正 | 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 一般社団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 男子ハンマー投 1位 |
| 25 | おかだ みお 岡田 海緒 | 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 一般社団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 女子1500m 3位 |
| 26 | きただにひろと 北谷 宏人 | 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 一般社団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 男子棒高跳 1位 |
| 27 | ささき たくま 佐々木 琢磨 | 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 一般社団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 男子100m 1位 |
| 28 | すえよしなぎ 末吉 凧 | 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 一般社団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 女子棒高跳 3位 |
| 29 | もりもと まさとし 森本 真敏 | 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 一般社団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 男子ハンマー投 2位 |
| 30 | かじわらだいき 梶原 大暉 | 一般社団法人日本パラバドミントン連盟 | HULIC DAIHATSU BWF Para Badminton World Championships 2022 MS-WH2 1位 |
| 31 | さとみ さりな 里美 紗季奈 | 一般社団法人日本パラバドミントン連盟 | HULIC DAIHATSU BWF Para Badminton World Championships 2022 MS-WH1 1位、 MD-WH1-WH2 1位 |
| 32 | やまざきゆま 山崎 悠麻 | 一般社団法人日本パラバドミントン連盟 | HULIC DAIHATSU BWF Para Badminton World Championships 2022 MD-WH1-WH2 1位 |
| 33 | いとう ひろかず 井藤 博和 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 男子団体戦2位 |
| 34 | かめざわふみのり 亀澤 史憲 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 男子団体戦2位 |
| 35 | かめざわほ 亀澤 穂穂 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 女子団体戦2位 女子ダブルス3位 |
| 36 | かわぐちこうと 川口 功人 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 男子団体戦2位 |
| 37 | かわさきみずえ 川崎 瑞恵 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 女子団体戦2位 女子ダブルス3位 |
| 38 | たていしりきと 立石 里吏 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 女子団体戦2位 |
| 39 | なだみつんたろう 灘光 晋太郎 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 男子団体戦2位 |
| 40 | やまだ もみ 山田 萌心 | 一般社団法人日本ろうあ者卓球協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 卓球 女子団体戦2位 |
| 41 | おぐら りょう 小倉 涼 | 一般社団法人日本ろうあ者空手道協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 空手競技 形/女子形1位 女子組手-61kg級1位 |
| 42 | きたむらひなた 北村 陽 | 一般社団法人日本ろうあ者空手道協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 空手競技 形/男子形3位 |
| 43 | もり けんじ 森 健司 | 一般社団法人日本ろうあ者空手道協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 空手競技 形/男子形3位 |
| 44 | ゆざわ あおい 湯澤 葵 | 一般社団法人日本ろうあ者空手道協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 空手競技 女子組手-55kg級3位 |
| 45 | はやせ くみ 早瀬 久美 | 一般社団法人日本ろうあ者自転車競技協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 自転車競技マウンテンバイク XCO女子2位 |
| 46 | みのほらゆかり 蓑原 由加利 | 一般社団法人日本ろうあ者自転車競技協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 | 第24回夏季デフリンピック競技大会 自転車競技女子ロードレース 3位 女子ポイントレース3位 タイムトライアル3位 |

令和4年度感謝状贈呈 企業・団体一覧

(敬称 略)

ご寄附

<パラスポーツの振興に対し、多大なるご支援を賜りました。>

(五十音順)

株式会社SMBC信託銀行
SMBC日興証券株式会社
全国生活協同組合連合会
全国労働者共済生活協同組合連合会
一般社団法人東京地区ライオンズ
公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン合同会社
マツト株式会社
楽天カード株式会社
双日株式会社

全国大会ご寄附

<全国障害者スポーツ大会に対し、多大なる財政支援を賜りました。>

大同生命保険株式会社